

## 「改革の『セカンドステージ』へ」

栗山町で議会基本条例が制定されて10年が経ちました。議会基本条例は議会改革にとってなくてはならない存在となっています。一方で、議会基本条例をどう活かしていくのかということも大きな課題となっています。この度、議会基本条例の制定状況を調査したNPO法人公共政策研究所に共催頂き、議会基本条例の制定状況等についてご報告いただくとともに、今後の議会改革の方向性について問題提起をいただきます。

また、全国に「善政競争」のうねりを起こしているマニフェスト大賞は、今年度11回目を迎えました。過去最高となる2,514件の応募があり、35件の優秀作品が選ばれています。今回は、優秀賞を受賞した関西の地方議員を中心にそれぞれの議員や議会の取組についてプレゼンも実施します。

### 《 プログラム (予定) 》

#### 14:00～14:05 【共同代表 開会挨拶】

越田謙治郎氏 (兵庫県議会議員)

#### 14:05～15:00 【基調報告】

「兵庫県、北海道、沖縄県の自治体議会の現状と今後の展望」

水澤雅貴氏 (北海道自治体学会員、NPO法人公共政策研究所 理事長)

#### 15:15～16:15 【マニフェスト大賞の取組み】

「法定外新税導入に向けた提言書」

村山祥栄氏 (京都市議会議員)

「避難者カード標準化プロジェクト」

山園有里氏 (伊丹市議会議員) 平田真実氏 (小野市議会議員)

「『軍師ネットワーク』のススメ ～『未来を語る議会』であるために～」

清水克士氏 (大津市議会局議会総務課長)



西科純 氏  
(芽室町議会 前事務局長)

#### 16:15～16:45 【先進事例報告】

「議会改革度ランキング1位 芽室町の取組み」

西科純氏 (北海道自治体学会条例・議会研究会共同代表、議会事務局研究会員、芽室町議会 前事務局長)

#### 16:50 【終了】

- 日 時 : 2016年11月23日 (水) 14時～16時50分 ※終了後、意見交換会
- 場 所 : 兵庫県民会館 会議室1001 (神戸市中央区下山手通4-16-3)
- 対 象 : 地方議員 (会員)、議会事務局 15～20名程度
- 会 費 : 会員議員 : 1,000円、非会員議員 : 2,000円 (会場・資料代として)  
事務局職員等は無料 ※受け付けにてお支払いください
- 共 催 : ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟  
北海道自治体学会条例・議会研究会、NPO法人公共政策研究所
- 後 援 : 北海道自治体学会

### 《お申込み》

下記webサイトからお申込みください

<http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/>

### 《お問合せ》

早稲田大学マニフェスト研究所 (担当: 永尾)

TEL:03-6214-1315 / Mail: mani@maniken.jp